

園芸学科通信 第7号

選抜講座・校外学習を受講
「樹木管理、剪定の実習」
於、宇賀野神明自然公園(米原市)

講師 北村 正隆 氏

早いもので平成29年度、園芸学科で
学ぶ第39期生の大学生活も後期に入り
ました。履修計画(後期)も4月の最初
の選抜講座「樹木管理・剪定実習」から
スタートしました。
4月最初の選抜講座は、北村正隆講師
による校外での学習「樹木管理・剪定
の実習」でした。4月4日、早朝から好天
に恵まれた日です。米原市宇賀野にある「宇
賀野神明自然公園」で大小さまざまな樹
木の剪定方法を受講しました。

校外学習時に行っている自動車教台に
分乗「集合場所の「宇賀野会館」に集ま
った後、徒歩で公園に移動し講習が開始
しました。まず、北村先生から公園につ
いての説明がありました。JR北陸本線
坂田駅近くにあるこの公園は、以前は竹
林でその竹は、野菜や花の支柱、種いん
など農業に使われてきた。また、竹林の
中から湧き出る清水は集落内を流れ生活
と切り離せないものでしたが、生活環境
の変化から、竹は使用されなくなり荒
廃してしまふ。そのため湧き出る清水
を利用した自然公園として整備されたこ
の説明がありました。この公園も手入れ
整備が行き届かず大変な様子です。



「宇賀野神明自然公園」(米原市宇賀野)

まず最初に、樹木剪定についての説明
があり、怪我や脚立による転落防止の注
意があり数グループに分かれて選定作業
に取組みました。



今日の校外学習には、レイカディア大
学サポーター隊の4名の皆さんも参加し
ていただきました。樹木の剪定に対し「ど
の幹を切るのか、どの枝を残すのか」と
いった的確なアドバイスを頂きながらの
剪定作業でした。

選定作業は昼食をはさんで行われ、受
講生やサポーター隊の皆さんの熱心な剪定
作業により終了、散らばった枝等の後片
付けを行いました。美しくなった公園の
姿を見て、自分が行った剪定具合に少し
満足!実技はやはり勉強になりました。

■ ニュースポーツ大会が開催される
交流の輪の中に、
レイカディア大学・米原校
第38期及び第39期生

「ニュースポーツ&レクリエーションゲ
ーム」交流の輪の中に、4月20日(木)
滋賀県立文化産業交流会館イベント
ホールは、ニュースポーツ大会の開催
を待つ、第38期生と第39期生及び関
係者の放つ熱気に包まれていました。こ
れは毎年行われている行事「平成29年



レイカディア大学・米原校

ニュースポーツ大会」が開催されようこ
していただく。
配布された冊子には、「①、スポーツ
、レクリエーションゲームを通して学科
を超えた仲間との交流を図る。②、参加
することの楽しさを分かち合う。③、ニ
ュースポーツを体験・理解し、地域活動
にも役立てると書かれています。
ニュースポーツ大会は、参加者全員の
入場行進から始まりました。我が園芸学
科第39期生一同は、懐かしき東京オリ
ンピックマーチの行進曲に合わせて、手
に「三九良会」に因んだ、きれいな桜の枝
(造花)を持つて入場行進を行いました。
このような入場行進も学生時代に経験
以来、懐かしき体験であると共に学生生
活に舞いもったような新鮮な場面でも
ありました。



園芸1年

ステージール説明があった後は、柔
軟体操の実施です。スポーツを行う前
には準備運動が必要で、ラジオ体操第
一が取り入れられました。
第38期園芸学科の柱田昌彦さんに
よるラジオ体操の指導は、真に行われ
ている全国巡回ラジオ体操かと思つた
ような巧みなリードで、久しぶりに真剣
なラジオ体操に取り組みことができました。
交流開始後の、ニュースポーツ
体験については、この種目も今までに
体験したことがない初めての内容で、
まさしく参加することの楽しさを分か
ち合えるものばかりです。
キンボールでは大きなキンボールに、
ペタンコ、囲碁ボールでは小さなキンボ
ールに手が届く人が続出し、また公式輪
投げは、リング(輪)を2mと3m離れた
た輪投げ台の投するゲーム(一見簡単



ニュースポーツ大会

そうに見えましたが、いざ競技となる
げ力の的に取まらないうことが多く、意
外と難しい競技でした。
午後の部の最初の交流は、レクリエー
ションダンスです。レクダンスクラブのメ
ンバースの美演指導により行いました。全
員が輪になり、「レイカディア賛歌、日
立の木(この木なら木)、みんなみん
な英雄」の曲に合わせたダンス、学生
時代にタイムスリップしたようなひと
時となりました。

レクリエーションゲームの体験は2種
目「ヒューマンサッカー」と「ボール運
び」でした。ヒューマンサッカー
は、じゃんけんを取り入れたゲームで負
ければ振り出しに戻るの何回も挑戦が
できるが鉢巻(たすき)がもらえない
でゲームには勝てないという、じゃんけ
んの面白さを改めて体験すると、心に
地よい汗をかきことができました。
ボール運びリレーでは、初対面のパー
トナーと息を合わせて、2本の棒にボ
ールを乗せ、ボールを落とさないように折
り返し地点を回り、早くスタート地点へ
戻りリレーしていくゲームで、平衡感覚
とスピードを競うゲームでした。
最後は昨年好評だった「江州音頭」で
す。レイカディア大学卒業生の小中長昭
さんの江州音頭に合わせた踊り、ニユー
ススポーツ大会の開幕となりました。文字
通り、学年、学科を超えた仲間との交流
を図ることができた一日となり、今後の
交流活動を生かすために、今後の地域
活動に取り入れ役割させたいものです。



交流の輪

編集後記
平成29年4月25日発行「第39期・園芸学科
通信第7号」を発送いたします。
今月の選抜講座は、校外学習「宇賀野神明公園玄
宮園、平田川沿いの桜並木」を掲載、寄稿してくれ
た北川氏に感謝し、ニュースポーツで交流の輪を広げた
園芸学科生のチームワークで大学祭で発信しよう。
(注)

校外学習 選抜講座を受講
「郷土の庭園鑑賞と桜並木の見学」
彦根城玄宮園と平田川沿いの桜並木
講師 北村正隆氏 川崎昭重氏

今月2回目の校外学習は、「郷土の庭園
鑑賞と桜並木の見学」をテーマに、彦根城
玄宮園の庭園と彦根市平田川沿いの桜並木
を見学するコースでした。受講生一同、昨
日のニュースポーツ大会に続いての連日の
講座活動にみんなワクワク、現地に向かい
ました。
彦根城周辺の桜は既に満開期を過ぎ、花
も散り、すべて葉桜に代わって若葉が芽吹
き始めています。学習に代わって若葉が芽吹
き始めたのは、江戸時代には「桐御殿」と呼ばれた彦根藩の
下屋敷で、1677年4代藩主井伊直興に
より造営が始まり、2年の月日を費やし完
成。庭園部分を玄宮園、建物部分を楽々園
と称しています。
玄宮園内では、6
内の木々、特に10
数本の「松」の生育
状況の観察・管理に
ついての苦勞話や樹
木に関するいろいろ
な説明を受け、講師
から「イスの木」と
「タブノキ」の説明
があり、覚えておこ
うとのことでした。
また、楽々園で
は、殿様になった気分を東方の鈴鹿山系を
借景した庭園を眺めることができました。



玄宮園 撮影日 4/14

午後からは、平田川
の桜の通りぬけ散策に
出かけました。彦根城
周辺の桜は、葉桜になつてしまふが、平
田川沿いでは何種類もの八重桜が満開とな
り見事な桜を見ることができました。まず
、樹木医である講師の川崎昭重氏から「平
田川桜並木の通りぬけ」に至った経緯の説
明を受けました。平成12年に平田川沿
いの景観を一層向上させるために、「平田川
沿いに桜の通りぬけを造る会」を結成。左
岸400本の用地にオナーを募り、20
種70本の八重桜を植栽。その後、対岸の
北側に50名のオナーを募り、5種類5
0本の八重桜の植栽を実施され、今日のさ
れいな桜並木による景観形成に至ってい
ます。設立の趣旨「桜並木形成を通じて地
域のより良い景観形成につなげよう」とい
う平田川への河川愛護につながるとも
講師の長年にわたる熱意が爽やかに咲
き誇っていました。